

## インターバンクの声（2015年10月7日）

個人投資家のみなさんは、今年のはじめ頃から、インターバンク市場で自分が勤務する銀行、証券会社、投資会社など以外の外部のディーラーとの市場に関わる情報交換に対して非常に神経質になっているのをご存知でしょうか。時として同じ社内の仲間との情報交換にも神経を使うようになっていきます。神経質と言うと分かり難いかも知れませんが、要は当事者しか知り得ないはずの情報（インサイダー情報）の流出を防止するためのものですが、無用な疑いをかけられるのを事前に防ぐためにも、やや過剰な反応になってしまっているのです。そもそもこうした規制の前に、当事者同士しか知り得ない情報が漏れるのがいけないのは、当たり前前のルールのはずですが、残念ながらロンドン市場を中心に数年前からロンドン時間の午後4時に決まる為替フィクシングレートや銀行間金利の公表レートを一部のディーラー達がレート決定前に談合して利益を上げるような事案が発覚したために、関係当局などからの規制が厳しくなり始めたのです。確かに業界内でこの位の情報交換は許されるだろうと甘えの構造があったのも確かですが、最近はどの通貨ペアのどの辺の価格にオーダーがどの位あるのかさえ分かり難くなっています。以前は市場に出回っている情報もかなり事実即した内容が多かったのですが、最近はそうではなくなっていることを頭に入れて様々な情報を取り入れてください。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。